

# 委託事業実施内容報告書

## 平成20年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

### 【退職教員を対象とした日本語指導者養成】

受託団体名 IWC国際市民の会

#### 1 事業の趣旨・目的

現在、東京には数多くの外国人が生活しており、今後もどんどん増える見込みです。そして現職の先生は、外国人の生徒が入ってくると非常に大変です。そこで、小中学校を退職された先生方に過去の経験を生かしながら指導法を勉強していただきたく、この講座を開講しました。

#### 2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
2008年 12月24日	HRST 研究所 「ゆー ホール」	伊藤美里 牧野玲子 澤村三枝子 松村恵巳	担当分担と授業内容	外部講師とIWC教師との 分担打ち合わせ 授業内容の確認
2009年 1月17日	HRST 研究所 「ゆー ホール」	伊藤美里 牧野玲子 澤村三枝子 松村恵巳	IWC・JSLの実習の仕方について の打ち合わせ	教案指導・教案チェック・ 実習の講評等についての 担当者決定
2009年 3月27日	HRST 研究所 「ゆー ホール」	伊藤美里 牧野玲子 澤村三枝子 松村恵巳 草薙 愛	今回の反省と次回の問題点	反省：週2回が良いのか 実習体験の流れと時間は 良かったが、時期は3月で 良いのか 次回：日本語文法の時間 数を考える

#### 3 養成講座の内容について

- (1) 養成講座名 退職職員日本語養成講座
- (2) 養成講座の目標 小中学校を退職された先生方に外国人の子どもへの日本語教授法

- (3) 受講者の総数 10 人
- (4) 開催時間数(回数) 40 時間 (20 回)
- (5) 参加対象者の要件 東京都の小中学校退職教職員
- (6) 受講者の募集方法 HPと東京都退職教職員連絡協議会を通じて各先生へ配布
- (7) 研修会場 HRST研究所「ゆーホール」
- (8) 使用した教材・リソース  
 日本語教授法の参考リスト  
 日本語教育能力検定試験の出題範囲  
 にほんごをまなぼう 1・2  
 高校受験情報誌  
 各先生方の創作資料
- (9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
1月14日 10:00～ 12:00	ガイダンス・カリキュラム説明 会の成り立ちと運営方法	IWC国際市民の会 理事長 伊藤美里	10名
1月16日 10:00～ 12:00	・日本語教育と国語教育の違い・日本語の学習者について・日本語教師について・日本語教育の参考書	元国際救援センター 教師 澤村三恵子	10名
1月21日 10:00～ 12:00	日本語文法/文型・日本語教育の文法・日本語教育の教科書	元国際救援センター 教師 澤村三恵子	8名
1月23日 10:00～ 12:00	日本語の音声・文字・表記	元国際救援センター 教師 梶山親子	8名
1月28日 10:00～ 12:00	文字の指導法・日本語の語彙・教具と教材・年少者の日本語教育	元国際救援センター 教師 牧野玲子	5名
1月30日 10:00～ 12:00	教授法(ビデオ)・個人教授法とグループ教授法	元国際救援センター 教師 梶山親子	6名
2月4日 10:00～ 12:00	直接法による日本語指導の実践例 ・直接法で教える場合	IWC国際市民の会 教師 所 きく子	8名

	は工夫が必要(動作・ 絵など)		
2月6日 10:00~ 12:00	学習に必要な日本語 の学習例・高校入試の 実践例	IWC国際市民の会 理事 松村恵巳	8名
2月13日 10:00~ 12:00	保護者に対する対応法 当会のJSLに通う生徒 の保護者への対応な ど、实例	IWC国際市民の会 教師 川合ゆかり	9名
2月18日 10:00~ 12:00	異国の言葉を習うとい うこと・当会の生徒であ るタイ人による「異国の 言葉を習うのは」という 体験談をタイ語・英語を 交えて	IWC国際市民の会 理事 松村恵巳 (タイ人サラン)	7名
2月20日 10:00~ 12:00	日本語指導に使う教材 と教具・手作り教材 20 点の紹介を中心にそれ らの使い方と効果	IWC国際市民の会 教師 滝沢美紀子	8名
2月25日 10:00~ 12:00	当会のJSL教室見学・ 教案の作り方	IWC国際市民の会 理事長・教師 伊藤美里・所 きく子	9名
2月27日 10:00~ 12:00	文化習慣の違い・各国 の習慣と異文化理解の 問題・違う文化では考 え方も違うので注意	元国際救援センター 教師 牧野玲子	9名
3月4日 10:00~ 12:00	外国人から見た日本語 ・日本語の不思議を 15 項目上げ、説明	IWC国際市民の会 理事 草薙 愛	7名
3月6日 10:00~ 12:00	実習の教案の講評 ・国語教育と日本語教 育の違いの実践からの 留意点	IWC国際市民の会 教師 中野 薫	9名
3月11日 10:00~	当会JSLの生徒に対し ての実習体験	IWC国際市民の会 理事長	10名

12:00		伊藤美里	
3月13日 10:00～ 12:00	当会JSLの生徒に対しての実習体験	IWC国際市民の会 理事長・理事 伊藤美里・松村恵巳	10名
3月18日 10:00～ 12:00	実習体験の講評	IWC国際市民の会 理事長・理事 伊藤美里・松村恵巳	8名
3月25日 10:00～ 12:00	JSLの先生による体験談	IWC国際市民の会 理事 松村恵巳	9名
3月27日 10:00～ 12:00	JSLの先生による体験談及び懇親会	IWC国際市民の会 理事 松村恵巳	10名

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート(別紙)

② 実施主体からの研修内容結果評価

当会で実施している外国からの子どもたちへの日本語教育の実施状態を見学した結果、各地域にも、もっと広めるべきとの評価をいただいた。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

当会は現在、品川区の外国人の子どもを中心に展開しているが、さらに広範囲に同志とのネットワークを作り、拡大していきたい。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

成人クラスの事業と総合的ネットワーク化を計っている。

② 研修後の人材活用

今回の聴講者に希望を取り、小・中学生のみならず、高校入学クラス・成人クラスの日本語教師の活動に積極的に参加していただく。

(12) 今後の課題

今後、増々外国人家族の来邦が多くなると思われる中、子供、大人に係わらず早急に日本語教育をするべきであるが、短期間に安価で習得させるとなると日本語教師不足、それに対する行政の支援体制など問題点は多い。